

出版社 各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

一般社団法人 日本雑誌協会
一般社団法人 日本雑誌広告協会
一般社団法人 日本広告業協会

汎用 QP (QuickPrint) チェックサービスに関して

雑誌広告デジタル送稿推進協議会は、「2014年4月完全オンライン化」へ向けた促進策の一つとして、業界標準の検証ソフトである QuickPrint (以下、QP) を利用した、オンライン送稿システム未導入出版社様宛ての原稿データをチェックするサービス(=汎用 QP チェック)の提供へ向け、株式会社デジタルセンドと協議を進めて参りました。

これまで制作サイドでは、同一の絵柄の原稿であってもオンライン用とオフライン用で作り分ける必要があり、未導入出版社数が多い現状では、かなりの作業負荷となっておりましたが、汎用 QP チェックサービスが提供されたことで、作業上の二重の手間を省くことが可能となりました。

しかしながら、このサービスは本来出版社様の責任において提供すべきサイズ/セーフティ等の情報を広告会社様が入力しなくてはならず、また、本来の目的である抜本的な効率化のためのオンラインによる送稿はできず、物流による原稿輸送となってしまいます。

未導入出版社様におかれましては、できるだけ早くシステム導入をしていただき、業界全体で広告フローの効率化を図り、雑誌広告の活性化に繋がるようご理解とご協力をお願いいたします。
※あくまでもこのサービスは、未導入出版社様がシステムを導入するまでの時限措置としています。

汎用 QP チェックサービス

■運用開始日 : 2013年10月1日

■サービス内容 : オンライン送稿システム未導入出版社様の雑誌でも QP を利用して原稿チェックを行う事ができるサービスです。

■送稿セット : 4点セット(記録メディア、QP 専用仕様書、原寸大出力見本、簡易出力見本)

※QP 専用仕様書は、デジタルセンド HP より DL して下さい。

※簡易見本とは、QP チェックを行った際に出力できる用紙です。

※汎用 QP チェック済み原稿を Acrobat X を利用してプリフライトチェックを行うと、PDF バージョンのエラーを検出する場合があります。

これはアプリケーションの仕様の違いによるものであり、PDF 自体の仕様は正しく、入稿にはなんら支障はありません。

■運用方法 : 媒体情報(サイズ、セーフティ等)は、システム導入済み広告会社責任で入力します。QP の利用方法、運用方法に関しては、システム導入済み広告会社様より制作/製版会社様へ指示する運用となります。

<お問い合わせ先>

雑誌広告デジタル送稿推進協議会 HP 「お問い合わせ」まで
以上